

様々なリスクに立ち向かうエレクトロニクス技術

2020年、COVID-19の感染拡大という大きなリスクが世界中を席卷しています。また米中関係など様々な地政学的リスクも顕在化しています。本セッションでは、エレクトロニクス技術が、今後、これらのグローバルリスクにどう立ち向かっていけば良いかを考えることを目的とし、多様な職種に携わられている3名の講師をお招きし、特別講演とパネルディスカッションを企画しました。多くの方のご参加をお待ちしています。



過去開催の様子 : https://web.jiep.or.jp/event/pdf/20190913_MFsession.pdf

日時 : 2020年9月18日 (金) 15:20 - 17:50
 場所 : Zoom会議
 参加資格 : MES2020参加登録者は**全員無料**!
 参加登録していない方も**無料 (定員あり)** ! (申込締切9/11)
 主催 : 一般社団法人エレクトロニクス実装学会(JIEP) ミッションフェロー




申込はこちらから

https://web.jiep.or.jp/seminar/ns01_mf2020_0918/



プログラム

第1部 特別講演

15:20 }	<p>◆商社における異分野統合研究 ~新価値創造を目指して~</p> <p>近年、先進国においては電気製品や自動車などの“生活用品”がほぼ行き渡り、物質的な価値よりも、「もっと健康に」「もっと美しく」など、形に表れない“情緒価値”を優先する傾向が強くなっている。本講演では、我が国において商社の果たして来た役割に触れ、価値のパラダイムシフトについて平易に解説するとともに、商社が開発する先端技術について紹介する。</p>	<p>長瀬産業株式会社 NVC (New Value Creation) 室 加藤 康男</p> 
15:50 }	<p>◆フィンランドの働き方とモビリティ事情</p> <p>本講演では、ローム(株)フィンランドソフトウェア開発センター紹介したのち、フィンランドの働き方、フィンランドのモビリティ事情について紹介いたします。</p>	<p>ローム株式会社 フィンランド ソフトウェア 開発センター 岡田 幸紀</p> 
16:20 }	<p>◆コロナ禍の半導体産業 -米中ハイテク戦争 (+日韓貿易戦争) の行方-</p> <p>5月14日、TSMCが米アリゾナ州に半導体工場を建設することを発表するとともに、9月以降はファーウェイ向けの半導体を出荷しないことが明らかになった。最先端の微細化を驀進しているTSMCが米国側に付いたことにより、米中ハイテク戦争がより激化している。一方、日本が2019年7月に、半導体3材料の輸出規制を強化したことから、日韓貿易戦争が勃発し、未だ収まる気配がない。講演では、政治問題に加えて、コロナ騒動で混乱している半導体産業の行方について論じる。</p>	<p>合同会社 微細加工研究所 湯之上 隆</p> 

第2部 パネルディスカッション

17:10 }	<p>◆様々なリスクに立ち向かうエレクトロニクス技術</p> <p>司会 畠山友行 氏(富山県立大) パネリスト 湯之上隆 氏(微細加工研究所), 岡田幸紀 氏(ローム), 加藤康男 氏(長瀬産業) 土屋秀和 氏(東海大), 藤村迅 氏(イープロニクス), 藤野真久 氏(産総研)</p>
------------	--

